

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【公表番号】特表 2019-536880 (P2019-536880A)

【公表日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-051

【出願番号】特願 2019-529960 (P2019-529960)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/00 (2006.01)

C 0 8 G 18/76 (2006.01)

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/092 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/00 L

C 0 8 G 18/76 0 1 4

C 0 8 L 75/04

C 0 8 K 5/092

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発泡剤、ならびに任意に助剤および / または添加剤の存在下で、T D I と少なくとも 1 種のヒドロキシル基含有化合物とを、70 ~ 85 のイソシアネートインデックスで反応させることにより、 $20 \text{ kg} / \text{m}^3$ のフォーム密度を有する T D I 系軟質ポリウレタンフォームを製造する方法であって、前記反応が、

- 使用される T D I の量に対して、0.20 ~ 1.25 モル % の少なくとも 1 種のジカルボン酸および / またはポリカルボン酸の環状無水物の存在下、または

- 使用される T D I の量に対して、0.15 ~ 1.25 モル % の少なくとも 1 種の塩化カルボニルの存在下

で行われる、前記方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法により得られる、軟質ポリウレタンフォーム。

【請求項 3】

家具用緩衝材、繊維インレイ (textile inlays)、マットレス、自動車用シート、ヘッドレスト、アームレスト、スポンジ、ヘッドライニング、ドアトリム、シートカバーまたは構造部材の製造、好ましくは自動車用シートの製造のための、請求項 2 に記載の軟質ポリウレタンフォームの使用。

【請求項 4】

ジカルボン酸および / またはポリカルボン酸、および / または塩化カルボニルの環状無水物を、V D A 278 に従って決定されたフォームの F O G 値を $250 \text{ mg} / \text{kg}$ 、好ましくは $225 \text{ mg} / \text{kg}$ に減少させるのに適した量で含む、軟質ポリウレタンフォー

△。